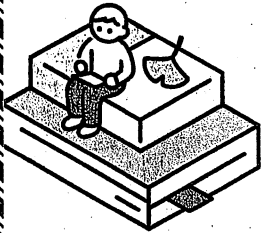


# 冲高生の軌跡（キセキ）

令和3年10月28日

2021年の読書週間は、  
10月27日(水)～11月9日(火)です。

## 奄美群島の高校生のおすすめ BOOKS



### 『桜のような僕の恋人』

(著:宇山 佳佑・集英社)

はしぐも わかな  
沖永良部高校 普通科2年 / 橋口 和花菜

この物語は、カメラマン見習いの晴人と、新米美容師の美咲が恋に落ちたところから始まります。幸せな時間がこれからも続くと思っていた2人ですが、美咲は人の何十倍もの早さで年を取る難病を発症してしまい――。

私がこの本を手にとったきっかけは、友人からの薦めでした。タイトルや表紙からは、どんなストーリーか全く予測できないまま読み始めました。この物語の登場人物が皆、私たちの身近にいるような親近感の持てる人柄だったからでしょうか、物語の中盤から私は涙を堪えるのに必死でした。普通に暮らしている同年代の女の子たちを妬ましく思う気持ち、醜い姿の自分にはもう誰からも愛されないだろうという絶望。そんな最悪な状況の中で見つける変わらないもの、2人の過ごした思い出、大切なことは何かを教えてくれるエンディング……。

作中では色々な登場人物の目線で語られているので、読み応え十分で激しく感情を揺さぶられます。興味のある方はぜひ読んでみてください。

情報元：奄美新聞社

日付：令和3年10月27日



### ●読書週間について

終戦まもない1947年(昭和22)年、まだ戦火の傷痕が至るところに残っているなかで「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意のもと、出版社・取次会社・書店と公共図書館、そして新聞・放送のマスコミ機関も加わって、11月17日から、第1回『読書週間』が開催されました。そのときの反響はすばらしく、翌年の第2回からは期間も10月27日～11月9日(文化の日を中心にした2週間)と定められ、この運動は全国に拡がっていきました。

そして『読書週間』は、日本の国民的行事として定着し、日本は世界有数の「本を読む国民の国」になりました。

いま、電子メディアの発達によって、世界の情報伝達の流れは、大きく変容しようとしています。しかし、その使い手が人間であるかぎり、その本体の人間性を育て、かたちづくるのに、「本」が重要な役割を果たすことは変わりありません。

暮らしのスタイルに、人生設計のなかに、新しい感覚での「本とのつきあい方」をとり入れていきませんか。

(読書推進運動協議会 <http://www.dokushyo.or.jp>より引用)